

「水害対策についてのアンケート」調査結果

調査の目的

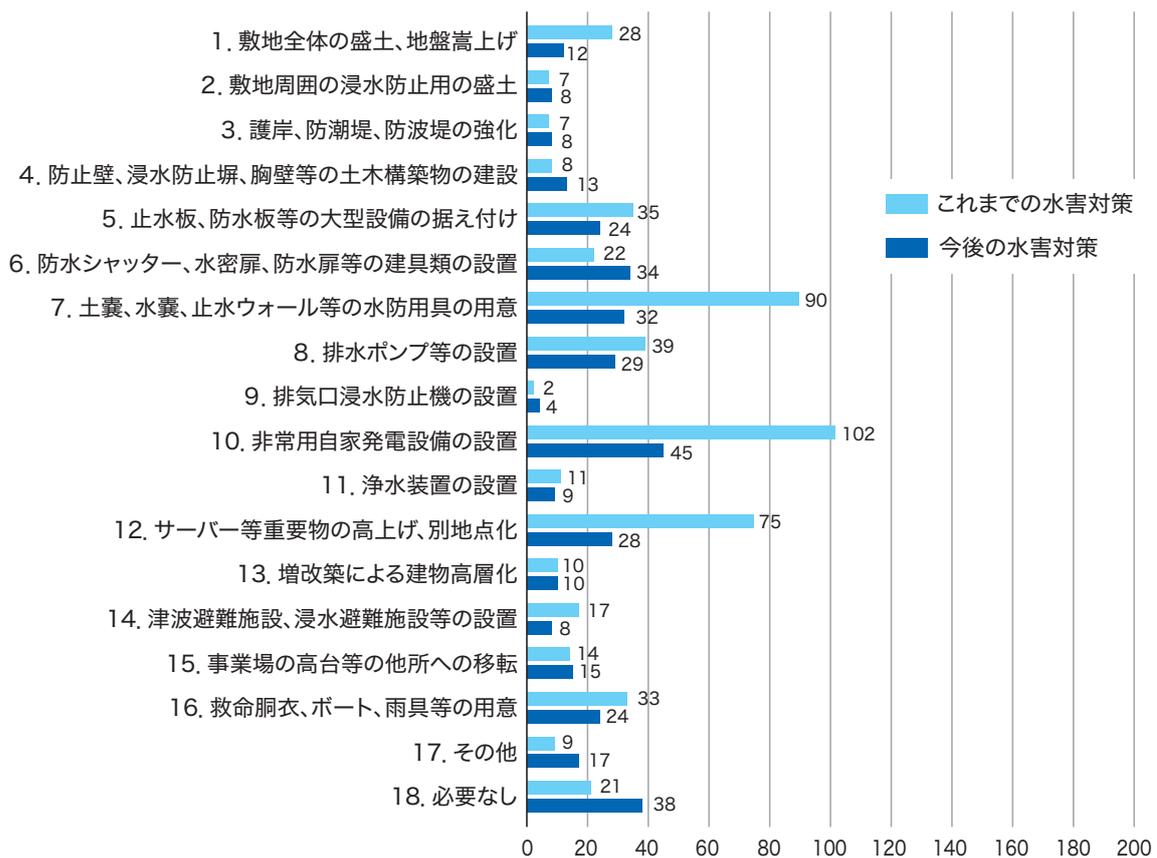
近年、いくつもの大型台風がわが国を襲い、広域にわたって甚大なる被害をもたらした。特に河川の決壊・氾濫による水害は、大規模地震に匹敵する大きな脅威であることを改めて認識することとなった。

今後、政府も水害対策を強化する方針であることから、さまざまな自然災害のうち水害に焦点を絞り、対策のあり方について検討するため、本アンケート調査を実施した。今後は、得られた結果をもとに政府に対して意見提起していく。

アンケート調査結果(一部抜粋)

企業における「これまでの水害対策」と「今後の水害対策」の回答数比較【n=194】

(複数回答可)



ポイント

- 「これまでの水害対策」は、「非常用自家発電・水防用具の設置」といった**優先順位が高く、比較的取り組みやすい対策**が実施されている。
- 「今後の水害対策」は、「大規模な水防用具の設置」「敷地や建物に関する改修または移転」といった**難易度がやや高めのもの**に手を回そうとしていると考えられる。
- 「これまでの水害対策」と比較して「今後の水害対策」は**全体的に回答割合が低い**。これは、**今後講じることができる対策には、金銭的・物理的に限りがある**ことが考えられる。

調査概要

対象：中経連法人会員(団体会員を除く)

実施期間：2020年1月24日～2020年2月28日 回収数：194社/706社(回収率27.5%)

アンケートの詳細については、中経連ホームページ(<https://www.chukeiren.or.jp/news/p9022/>)よりご覧ください

【問い合わせ：調査部】